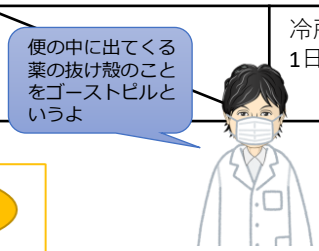
医薬品情報 NEWS　2023.12.28　薬剤科

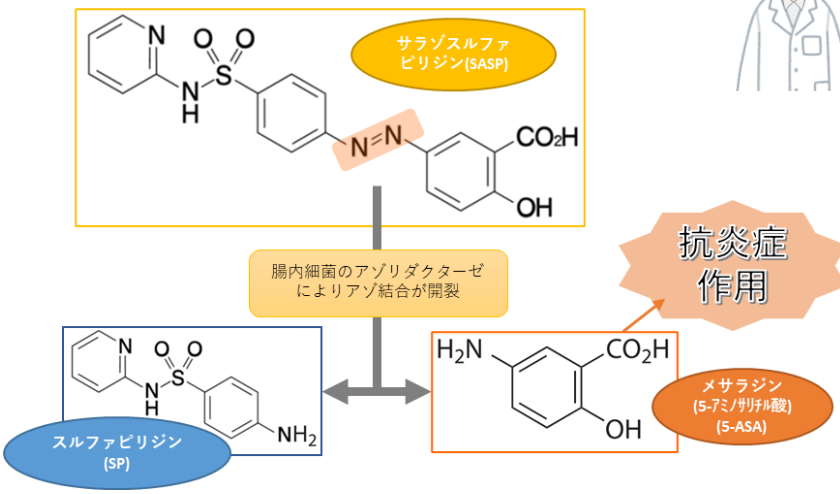
炎症性腸疾患に用いる5-アミノサリチル酸（5-ASA）製剤について

炎症性腸疾患とは、腸に炎症をきたす疾患の総称で、狭義ではクローン病、潰瘍性大腸炎のことを指します。今回はクローン病、潰瘍性大腸炎で治療の基本となる5-ASA製剤の内服薬についてです。

○5-ASA製剤の内服一覧（当院採用薬は赤色）

商品名	ペンタサ	アサコール	リアルダ	サラゾピリン
一般名	メサラジン			サラゾスルファピリジン
適応	潰瘍性大腸炎(重傷を除く) クローン病	潰瘍性大腸炎(重傷を除く)	潰瘍性大腸炎(重傷を除く)	潰瘍性大腸炎 限局性腸炎 非特異性大腸炎
放出特性	時間依存性の徐放	pH依存性(pH7以上で放出)	pH依存(pH7以上で放出) +大腸での徐放	
コーティング	エチルセルロース	メタクリル酸コポリマー	マルチマトリックス(MMX)	コーティングなし(素錠)
用法用量	【潰瘍性大腸炎】 ・活動期 1日2回　4000mg/日 ・寛解期 1日3回　1500mg/日 ※1日1回も可 【クローン病】 1日3回 1500～3000mg/日	・活動期 1日3回　3600mg/日 ・寛解期 1日3回　2400mg/日 ※1日1回も可	・活動期 1日1回　4800mg/日 ・寛解期 1日1回　2400mg/日	1日4～6回 2000～4000mg/日 症状により初回毎日8gとすることもでき、この場合3週間を過ぎれば次第に減量し、1日1500～2000mgとする
特徴	クローン病に適応あり。コーティング剤が水に不溶のため、便中に白いものが見えることがある。粉砕不可。分割は可。	コーティングが溶け切らず、茶色い錠剤の破片がみられることがある。粉砕・分割不可。	冷所保存。 1日1回の服用で良い。	皮膚、爪、尿・汗等の体液が黄色～黄赤色に着色することがある。また、ソフトコンタクトレンズが着色することがある。





サラゾスルファピリジン(SASP)は、腸内細菌によりメサラジン(5-ASA)とスルファピリジン(SP)に分解されたのち、5-ASAが大腸に効果を示すと考えられています。一方、SPはSASPの副作用の元（頭痛、嘔気、皮疹、肝障害など）と考えられ、5-ASAのみの製剤が開発されてきました。

5-ASAはそのままでは小腸で吸収され、大腸に届かないため、小腸で吸収されないためのコーティングがされています。

5-ASA製剤使用後1~2週間以内に不耐症状がでることがあります。症状は下痢の悪化、腹痛、発熱などがあり、潰瘍性大腸炎の悪化との鑑別が難しい場合があります。

参考文献
各種添付文書、製品ホームページ、薬効別服薬指導マニュアル第10版　じほう
なんで使うの？そのくすり　医師が考える薬の立ち位置　南江堂